

# 平成26年4～6月期結果(確報)の概要

## I 今期の概況

### 1 今期の個人企業(個人経営の事業所)の業況判断D I

- ① 今期の業況判断  
**今期(平成26年4～6月期)の業況判断D I**は (-)62.0 で、前期(平成26年1～3月期) (-59.8)に比べ、2.2ポイントの悪化。
- ② 来期の見通し  
**来期(平成26年7～9月期)の業況見通しD I**は (-)59.1 で、今期の業況判断 (-62.0)に比べ、2.9ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

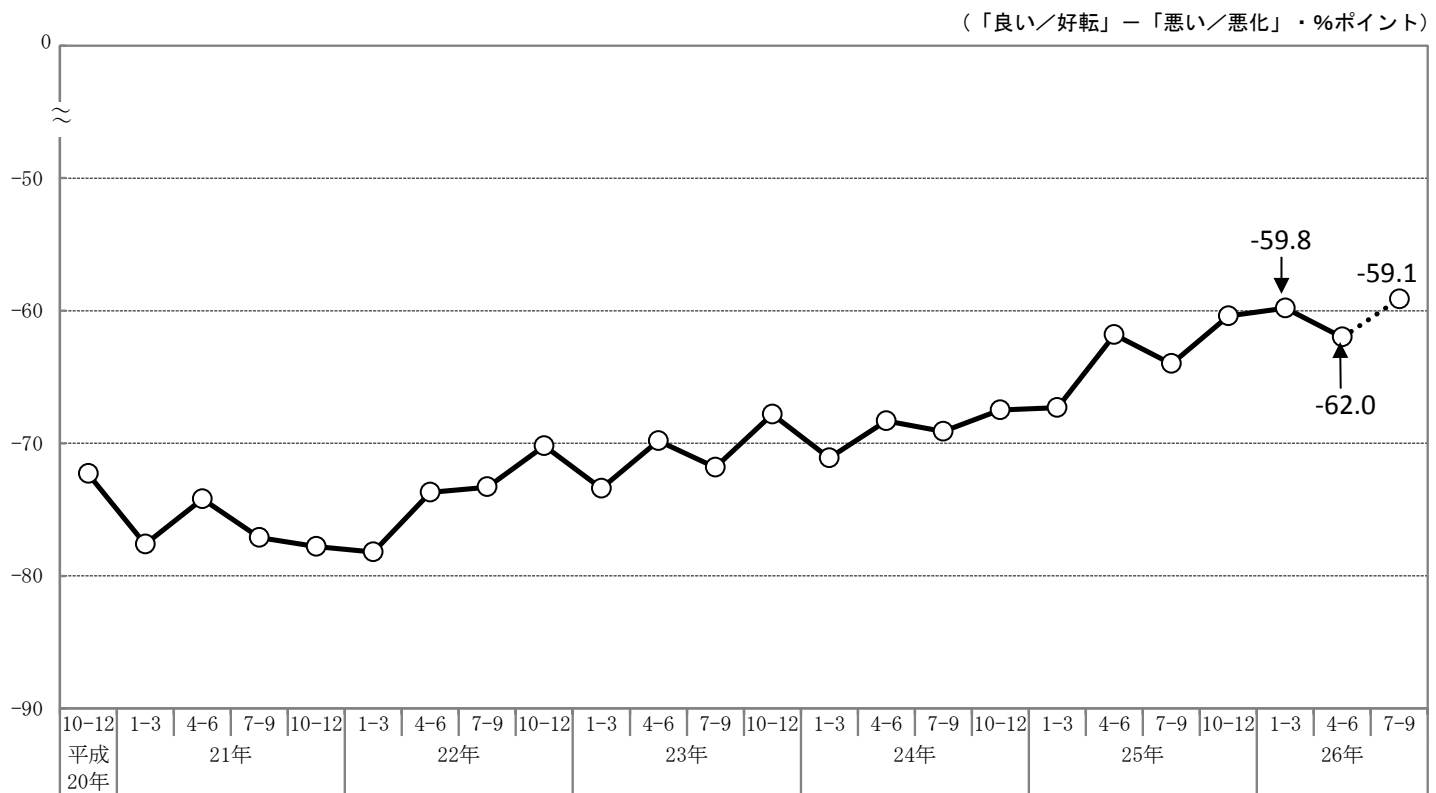


表1 業況判断の割合 —調査産業計—

	平成25年			26年			
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期 見通し	
今期の業況, 来期の業況 (%)							
良い/好転	3.5	3.0	4.1	4.3	3.7	2.7	
普通/不変	31.2	30.0	31.4	31.6	30.6	35.5	
悪い/悪化	65.3	67.0	64.5	64.1	65.7	61.8	
D I	-61.8	-64.0	-60.4	-59.8	-62.0	-59.1	
参考	日銀短観(大企業全産業計)	8	13	18	21	16	17
	中小企業景況調査(全産業計)	-29.5	-29.0	-25.0	-24.7	-27.6	-15.4

(注) 「中小企業景況調査」：(独) 中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成26年7月上旬から中旬までである。

## 2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	213万1000円で、前年同期に比べ、2.4%の減少
□「卸売業、小売業」は	398万1000円で、前年同期に比べ、1.2%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	215万4000円で、前年同期に比べ、3.2%の増加
□「サービス業」は	121万円で、前年同期に比べ、13.9%の減少
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	61万3000円で、前年同期に比べ、2.7%の減少
□「卸売業、小売業」は	43万1000円で、前年同期に比べ、8.3%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	40万2000円で、前年同期に比べ、5.2%の減少
□「サービス業」は	45万6000円で、前年同期に比べ、12.6%の減少

※前年同期(平成25年4～6月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
実数 (千円)	平成24年 4～6月期	2,495	606	4,278	415	2,086	348	1,204	447
	7～9月期	2,332	612	4,201	433	2,164	354	1,171	416
	10～12月期	2,682	765	4,431	435	2,189	390	1,291	463
	平成25年 1～3月期	2,086	563	3,948	368	2,058	383	1,232	427
	4～6月期	2,183	630	3,932	398	2,087	424	1,405	522
	7～9月期	2,119	651	3,969	446	2,158	433	1,274	437
	10～12月期	2,474	676	4,376	441	2,249	406	1,274	448
	平成26年 1～3月期	2,293	654	4,007	463	2,018	341	1,102	352
	4～6月期	2,131	613	3,981	431	2,154	402	1,210	456
	前年同期比 (%)	平成24年 4～6月期	21.2	-2.4	3.3	-4.4	-2.0	-11.7	-5.9
7～9月期		10.6	-0.5	-3.2	-8.5	-1.3	-20.6	-6.2	-9.2
10～12月期		13.5	13.5	-1.0	-2.7	3.6	-2.5	-0.8	-8.3
平成25年 1～3月期		-16.1	-11.1	-0.2	-4.4	4.8	5.5	11.8	7.8
4～6月期		-12.5	4.0	-8.1	-4.1	0.0	21.8	16.7	16.8
7～9月期		-9.1	6.4	-5.5	3.0	-0.3	22.3	8.8	5.0
10～12月期		-7.8	-11.6	-1.2	1.4	2.7	4.1	-1.3	-3.2
平成26年 1～3月期		9.9	16.2	1.5	25.8	-1.9	-11.0	-10.6	-17.6
4～6月期		-2.4	-2.7	1.2	8.3	3.2	-5.2	-13.9	-12.6

## 3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	8万5000円で、前年同期(5万6000円)に比べ、増加
□「卸売業、小売業」は	6万8000円で、前年同期(11万8000円)に比べ、減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	4万5000円で、前年同期(5万9000円)に比べ、減少
□「サービス業」は	7万5000円で、前年同期(6万3000円)に比べ、増加
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	4.0%で、前年同期(2.6%)に比べ、1.4ポイントの上昇
□「卸売業、小売業」は	1.7%で、前年同期(3.0%)に比べ、1.3ポイントの低下
□「宿泊業、飲食サービス業」は	2.1%で、前年同期(2.8%)に比べ、0.7ポイントの低下
□「サービス業」は	6.2%で、前年同期(4.5%)に比べ、1.7ポイントの上昇

※前年同期(平成25年4～6月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成24年	4～6月期	94	3.8	76	1.8	64	3.1	101	8.4
	7～9月期	100	4.3	71	1.7	115	5.3	91	7.8
	10～12月期	131	4.9	60	1.4	64	2.9	74	5.7
平成25年	1～3月期	65	3.1	100	2.5	64	3.1	125	10.1
	4～6月期	56	2.6	118	3.0	59	2.8	63	4.5
	7～9月期	139	6.6	81	2.0	78	3.6	45	3.5
平成26年	10～12月期	122	4.9	89	2.0	89	4.0	44	3.5
	1～3月期	116	5.1	83	2.1	87	4.3	73	6.6
	4～6月期	85	4.0	68	1.7	45	2.1	75	6.2

## II 業況判断

### 1 調査産業計

#### (1) 業況

##### ① 今期の業況

ア 今期（平成26年4～6月期）の業況判断D Iは(-)62.0で、前期（平成26年1～3月期）(-59.8)に比べ、2.2ポイント悪化した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは(-)45.7で、前期(-50.5)に比べ、4.8ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成25年4～6月期）と比較した業況判断D Iは(-)51.9で、前期(-50.4)に比べ、1.5ポイント悪化した。

##### ② 来期の業況見通し

来期（平成26年7～9月期）の業況見通しD Iは(-)59.1で、今期の業況判断(-62.0)に比べ、2.9ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 -調査産業計-

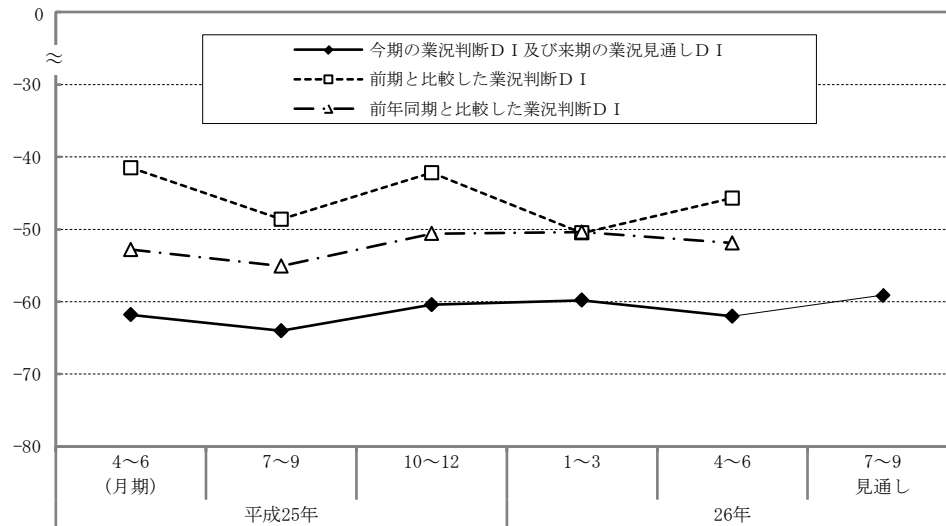
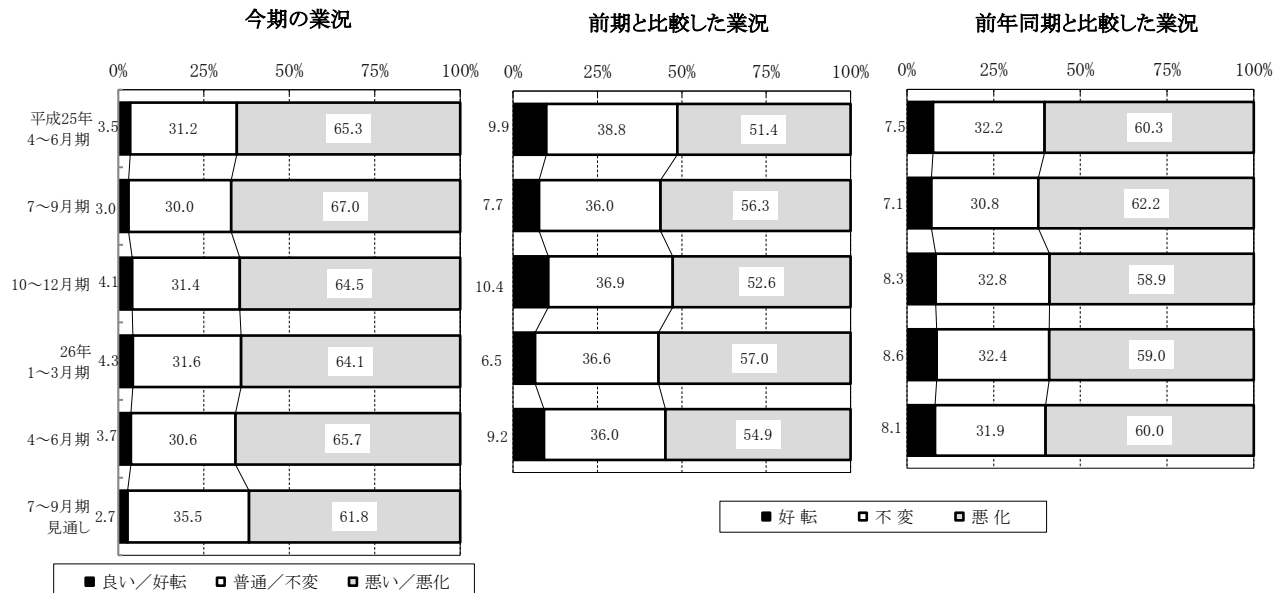


図3 業況判断の割合 -調査産業計-



## (2) 売上の状況

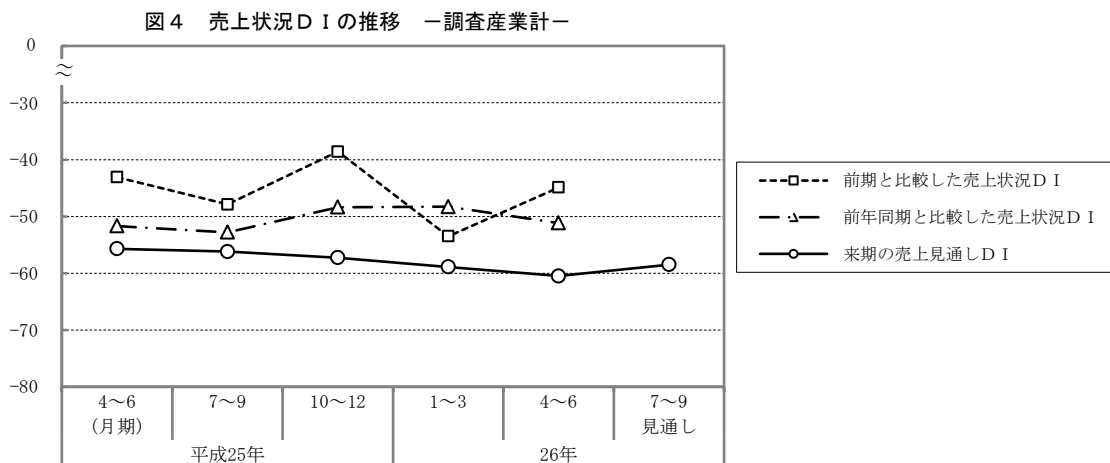
### ① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況D Iは (-)44.9 で、前期 (-53.5) に比べ、8.6 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況D Iは (-)51.2 で、前期 (-48.3) に比べ、2.9 ポイント悪化した。

### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しD Iは (-)58.5 で、前期における今期の売上見通し (-60.5) に比べ、2.0 ポイントの改善の見通しとなっている。



## (3) 営業利益の状況

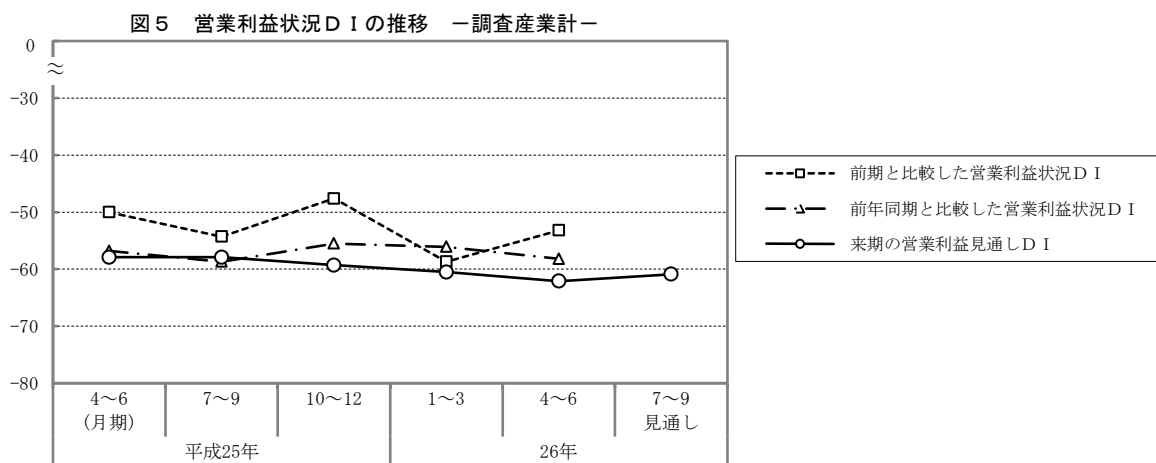
### ① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況D Iは (-)53.2 で、前期 (-58.7) に比べ、5.5 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況D Iは (-)58.2 で、前期 (-56.1) に比べ、2.1 ポイント悪化した。

### ② 来期の営業利益見通し

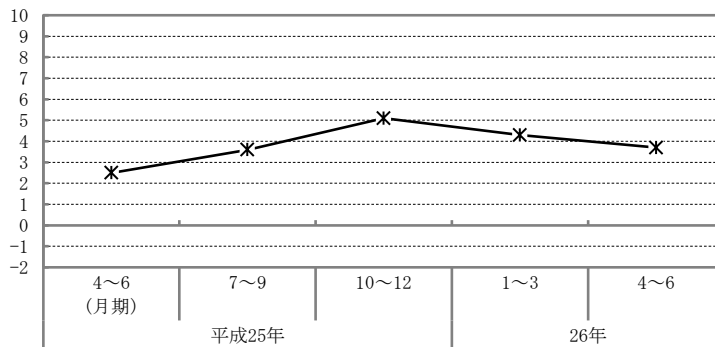
来期の営業利益見通しD Iは (-)60.9 で、前期における今期の営業利益見通し (-62.1) に比べ、1.2ポイントの改善の見通しとなっている。



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) $3.7$ で、前期(+ $4.3$ )に比べ、 $0.6$ ポイント「過剰」が縮小した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

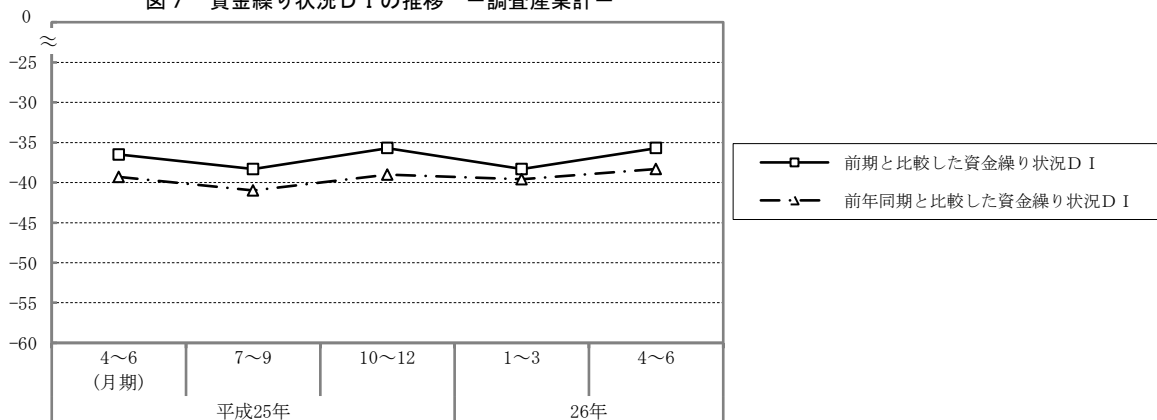


#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) $35.7$ で、前期(- $38.3$ )に比べ、 $2.6$ ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) $38.3$ で、前期(- $39.6$ )に比べ、 $1.3$ ポイント改善した。

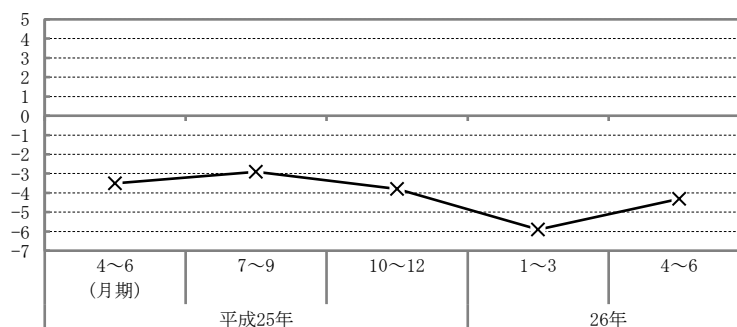
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) $4.3$ で、前期(- $5.9$ )に比べ、 $1.6$ ポイント「不足」が縮小した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



## 2 製造業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成26年4～6月期）の業況判断DIは(-)47.4で、前期（平成26年1～3月期）(-43.3)に比べ、4.1ポイント悪化した。

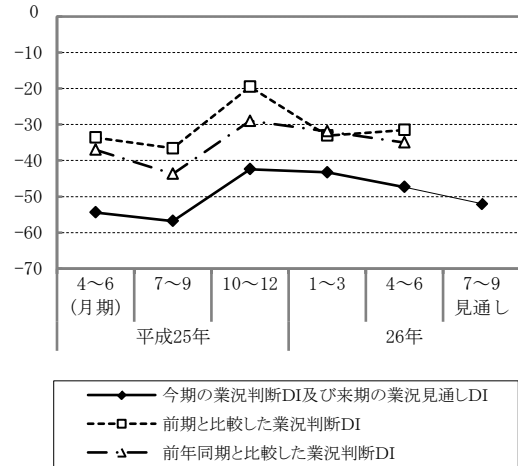
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)31.5で、前期(-33.1)に比べ、1.6ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成25年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)35.0で、前期(-31.9)に比べ、3.1ポイント悪化した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成26年7～9月期）の業況見通しDIは(-)52.0で、今期の業況判断(-47.4)に比べ、4.6ポイントの悪化の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移  
—製造業—



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

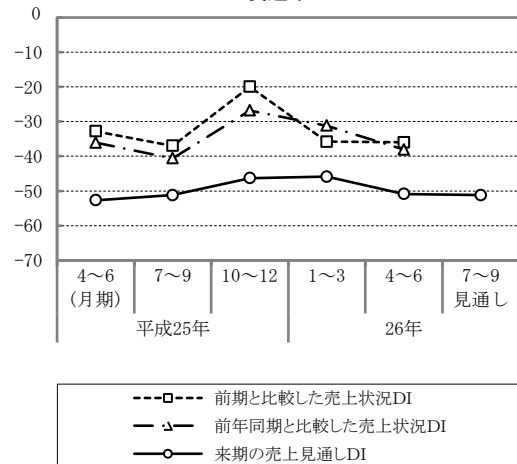
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)36.0で、前期(-35.8)に比べ、0.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)38.1で、前期(-31.2)に比べ、6.9ポイント悪化した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)51.2で、前期における今期の売上見通し(-50.9)に比べ、0.3ポイントの悪化の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移  
—製造業—



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

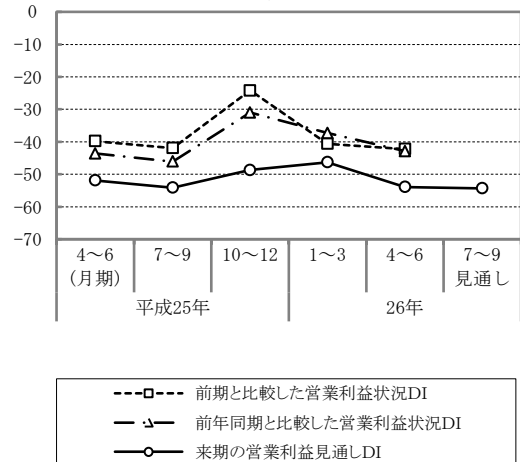
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)42.2で、前期(-40.6)に比べ、1.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)42.9で、前期(-37.3)に比べ、5.6ポイント悪化した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)54.3で、前期における今期の営業利益見通し(-53.9)に比べ、0.4ポイントの悪化の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移  
—製造業—



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.8 で、前期 (+0.9) に比べ、1.9 ポイント「過剰」が拡大した。

#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)28.7 で、前期 (-29.0) に比べ、0.3 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)31.3 で、前期 (-24.9) に比べ、6.4 ポイント悪化した。

#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)2.7 で、前期 (-6.6) に比べ、3.9 ポイント「不足」が縮小した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 - 製造業 -

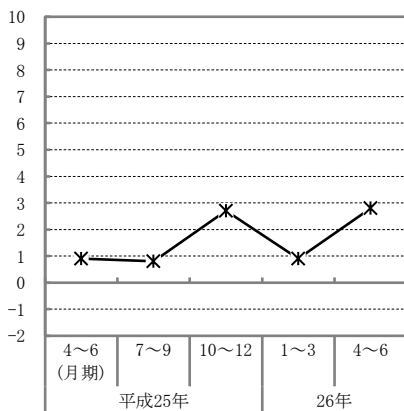


図13 資金繰り状況DIの推移 - 製造業 -

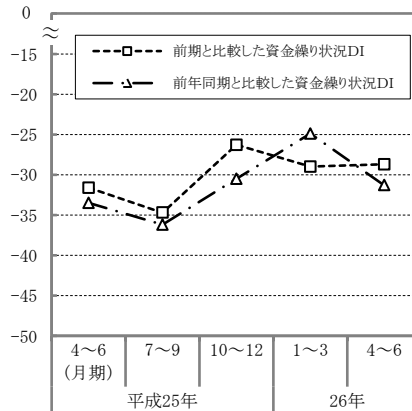
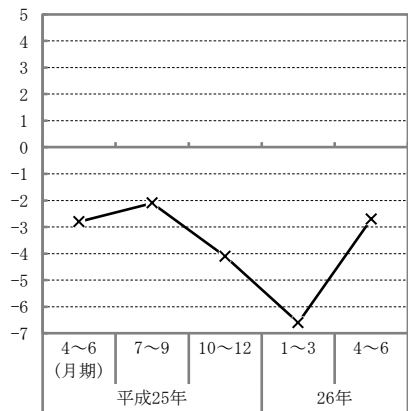


図14 雇用状況DIの推移 - 製造業 -



### 3 卸売業、小売業

#### (1) 業況

##### ① 今期の業況

ア 今期（平成26年4～6月期）の業況判断DIは (-)67.2 で、前期（平成26年1～3月期） (-57.2) に比べ、10.0 ポイント悪化した。

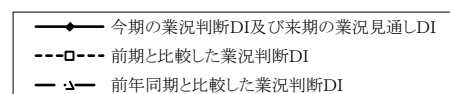
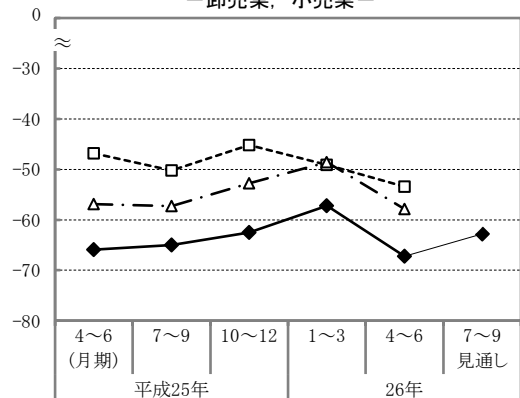
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)53.4 で、前期 (-49.1) に比べ、4.3 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成25年4～6月期）と比較した業況判断DIは (-)57.9 で、前期 (-48.6) に比べ、9.3 ポイント悪化した。

##### ② 来期の業況見通し

来期（平成26年7～9月期）の業況見通しDIは (-)62.8 で、今期の業況判断 (-67.2) に比べ、4.4 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 - 卸売業、小売業 -



## (2) 売上の状況

### ① 今期の売上の状況

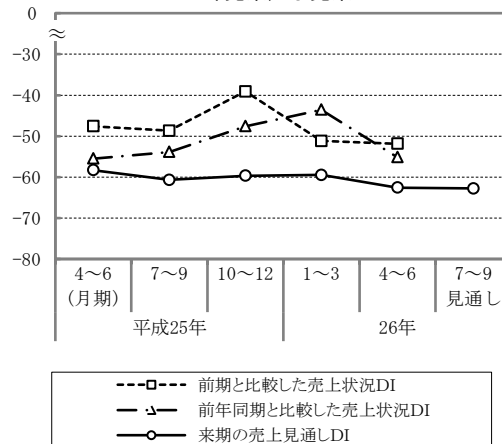
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)51.9で、前期(-51.2)に比べ、0.7ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)55.2で、前期(-43.6)に比べ、11.6ポイント悪化した。

### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)62.8で、前期における今期の売上見通し(-62.6)に比べ、0.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移  
—卸売業、小売業—



## (3) 営業利益の状況

### ① 今期の営業利益の状況

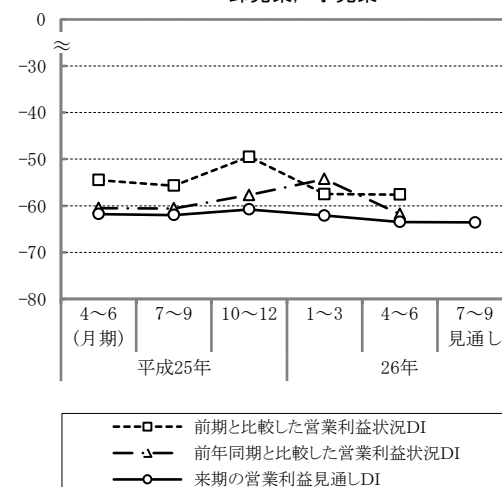
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)57.6で、前期(-57.5)に比べ、0.1ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)61.8で、前期(-54.3)に比べ、7.5ポイント悪化した。

### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)63.6で、前期における今期の営業利益見通し(-63.5)に比べ、0.1ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移  
—卸売業、小売業—



## (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+ )4.9で、前期(+8.3)に比べ、3.4ポイント「過剰」が縮小した。

## (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)38.4で、前期(-38.7)に比べ、0.3ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)39.7で、前期(-39.2)に比べ、0.5ポイント悪化した。

## (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)5.2で、前期(-6.2)に比べ、1.0ポイント「不足」が縮小した。



図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

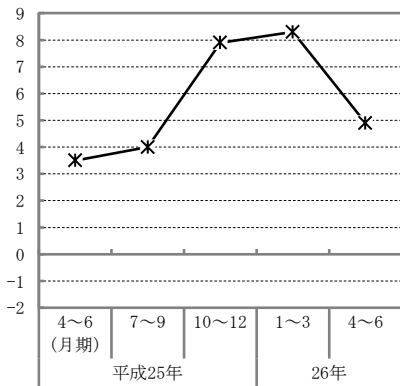


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

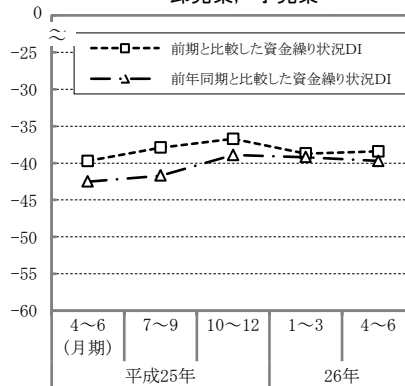


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業, 小売業-



## 4 宿泊業, 飲食サービス業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成26年4～6月期）の業況判断DIは(-)59.1で、前期（平成26年1～3月期）(-65.7)に比べ、6.6ポイント改善した。

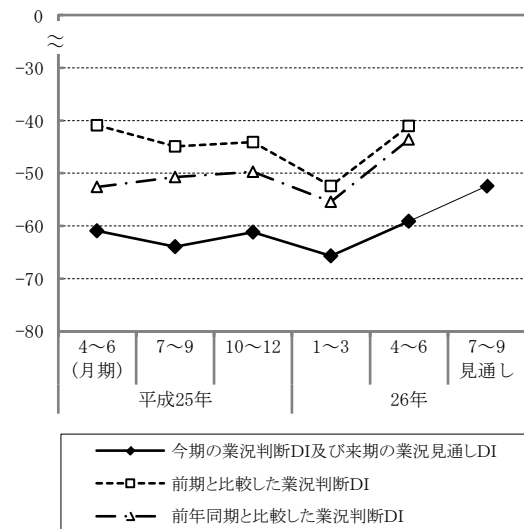
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)41.0で、前期(-52.4)に比べ、11.4ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成25年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)43.6で、前期(-55.4)に比べ、11.8ポイント改善した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成26年7～9月期）の業況見通しDIは(-)52.4で、今期の業況判断(-59.1)に比べ、6.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

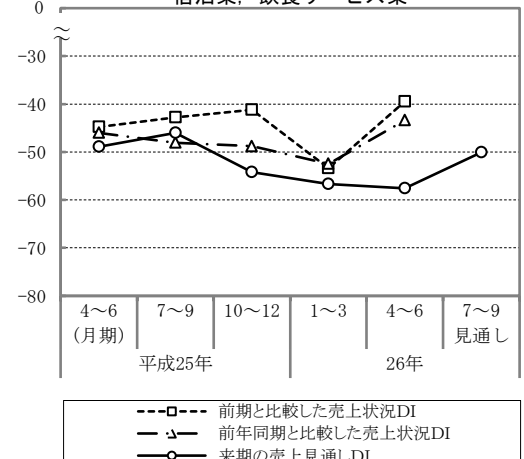
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)39.5で、前期(-53.4)に比べ、13.9ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)43.4で、前期(-52.5)に比べ、9.1ポイント改善した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)50.1で、前期における今期の売上見通し(-57.6)に比べ、7.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

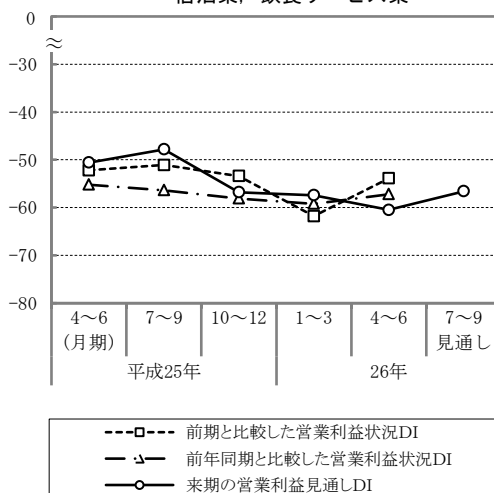
ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)53.9 で、前期 (-61.8) に比べ、7.9ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)57.2 で、前期 (-59.2) に比べ、2.0ポイント改善した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは (-)56.6 で、前期における今期の営業利益見通し (-60.5) に比べ、3.9ポイントの改善の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—



### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)1.9 で、前期 (+1.3) に比べ、0.6ポイント「過剰」が拡大した。

### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)37.5 で、前期 (-41.9) に比べ、4.4ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)40.4 で、前期 (-44.8) に比べ、4.4ポイント改善した。

### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)5.5 で、前期 (-7.4) に比べ、1.9ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—

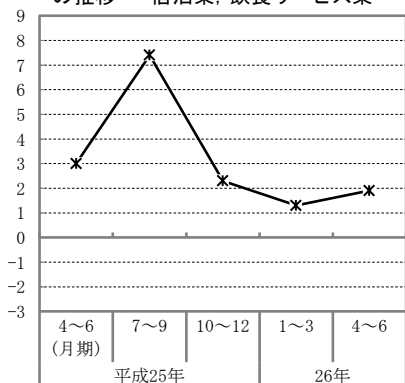


図25 資金繰り状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—

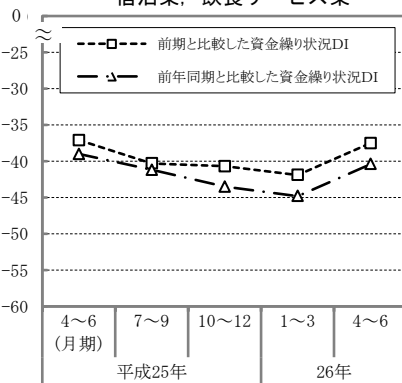
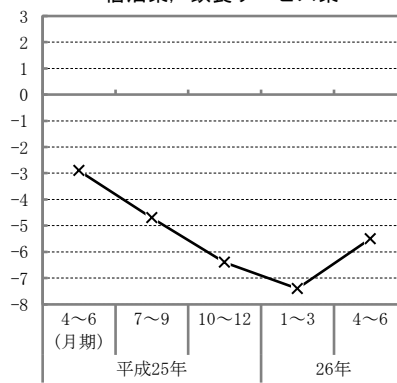


図26 雇用状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—



## 5 サービス業

### (1) 業況

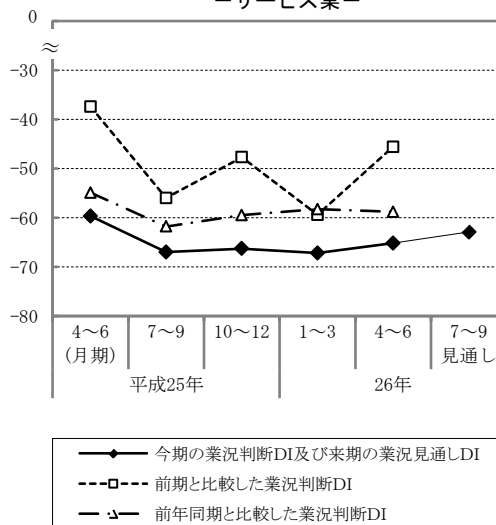
#### ① 今期の業況

- ア 今期（平成26年4～6月期）の業況判断DIは(-)65.2で、前期（平成26年1～3月期）(-67.2)に比べ、2.0ポイント改善した。
- イ 前期と比較した業況判断DIは(-)45.6で、前期(-59.4)に比べ、13.8ポイント改善した。
- ウ 前年同期（平成25年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)58.8で、前期(-58.3)に比べ、0.5ポイント悪化した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成26年7～9月期）の業況見通しDIは(-)62.9で、今期の業況判断(-65.2)に比べ、2.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移  
—サービス業—



### (2) 売上の状況

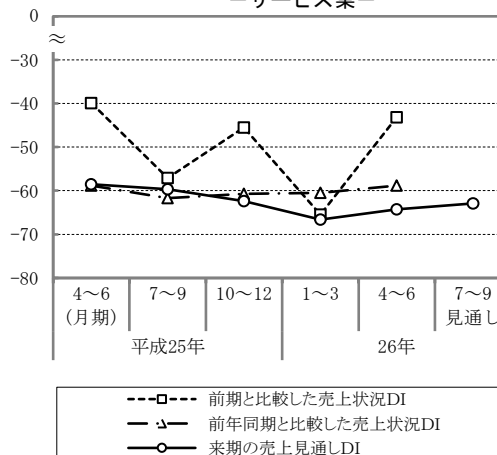
#### ① 今期の売上の状況

- ア 前期と比較した売上状況DIは(-)43.2で、前期(-65.5)に比べ、22.3ポイント改善した。
- イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)58.8で、前期(-60.5)に比べ、1.7ポイント改善した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)62.9で、前期における今期の売上見通し(-64.3)に比べ、1.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移  
—サービス業—



### (3) 営業利益の状況

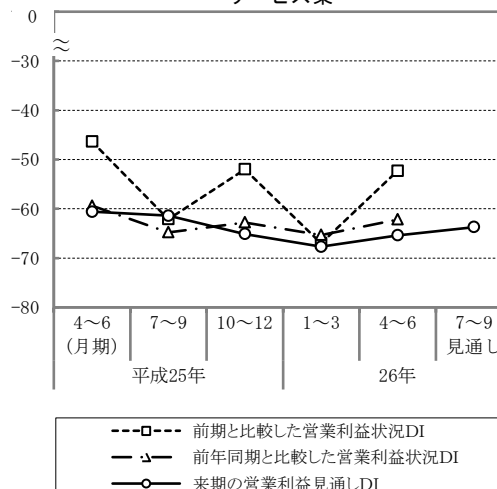
#### ① 今期の営業利益の状況

- ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)52.3で、前期(-67.0)に比べ、14.7ポイント改善した。
- イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)62.2で、前期(-65.3)に比べ、3.1ポイント改善した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)63.7で、前期における今期の営業利益見通し(-65.4)に比べ、1.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移  
—サービス業—



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) $3.9$ で、前期(+ $2.0$ )に比べ、 $1.9$ ポイント「過剰」が拡大した。

#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) $34.4$ で、前期(- $39.1$ )に比べ、 $4.7$ ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) $38.7$ で、前期(- $43.2$ )に比べ、 $4.5$ ポイント改善した。

#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) $2.9$ で、前期(- $4.1$ )に比べ、 $1.2$ ポイント「不足」が縮小した。

図30 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -サービス業-

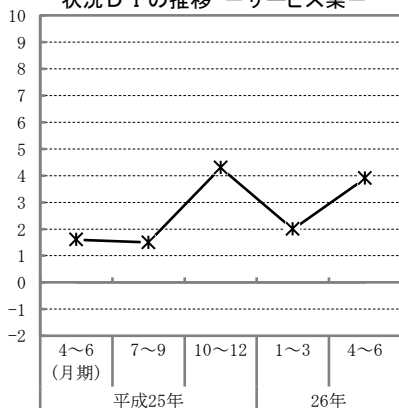


図31 資金繰り状況DIの推移 -サービス業-

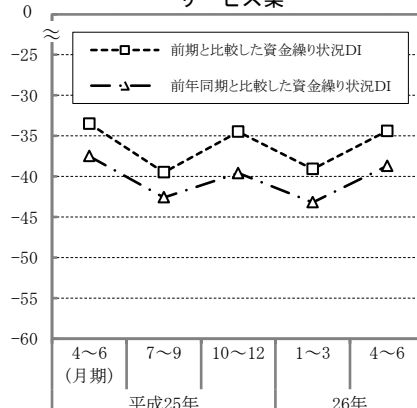
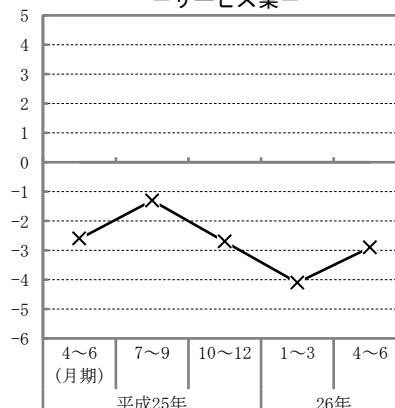


図32 雇用状況DIの推移 -サービス業-



### Ⅲ 営業収支

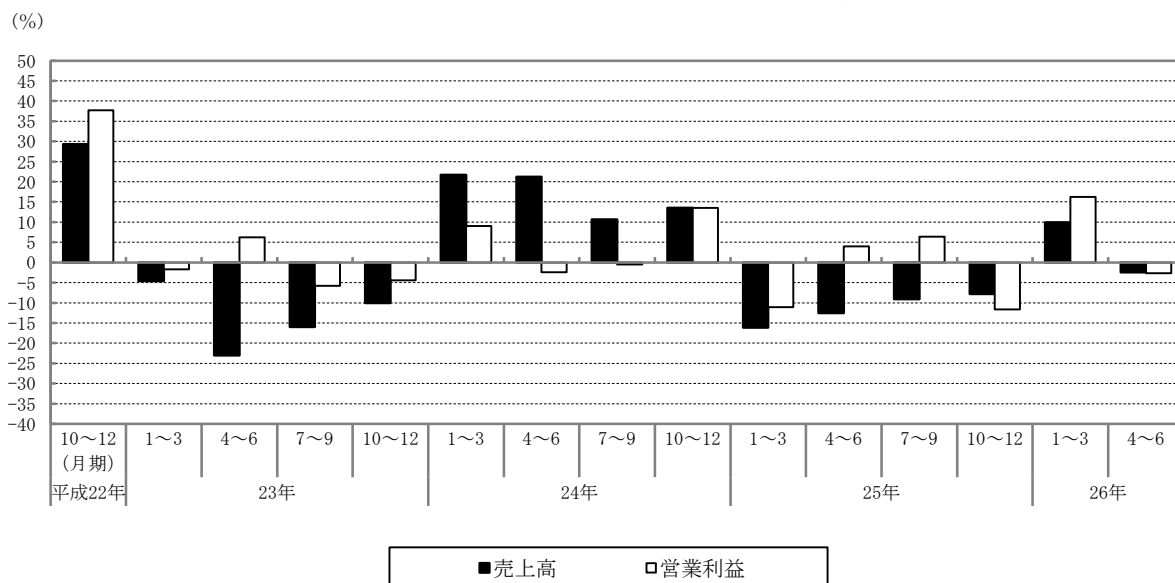
#### 1 製造業

##### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は213万1000円で、これに対する費用は売上原価が66万7000円、営業費が85万1000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は61万3000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)2.4%で、2期ぶりに減少した。また、営業利益は(-)2.7%で、2期ぶりに減少した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -製造業-

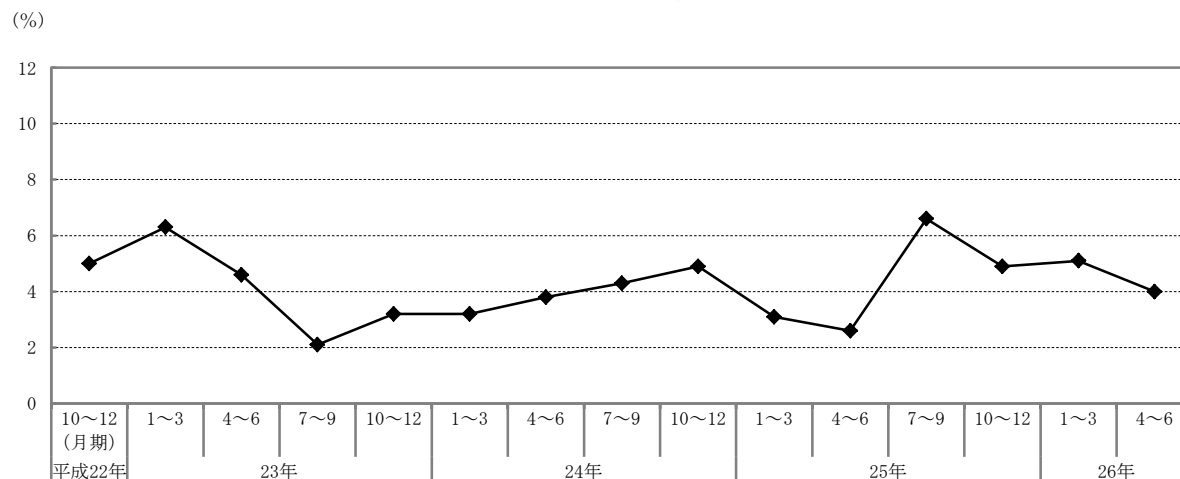


##### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は8万5000円で、前年同期(5万6000円)を上回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は4.0%で、前年同期(2.6%)を1.4ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 -製造業-

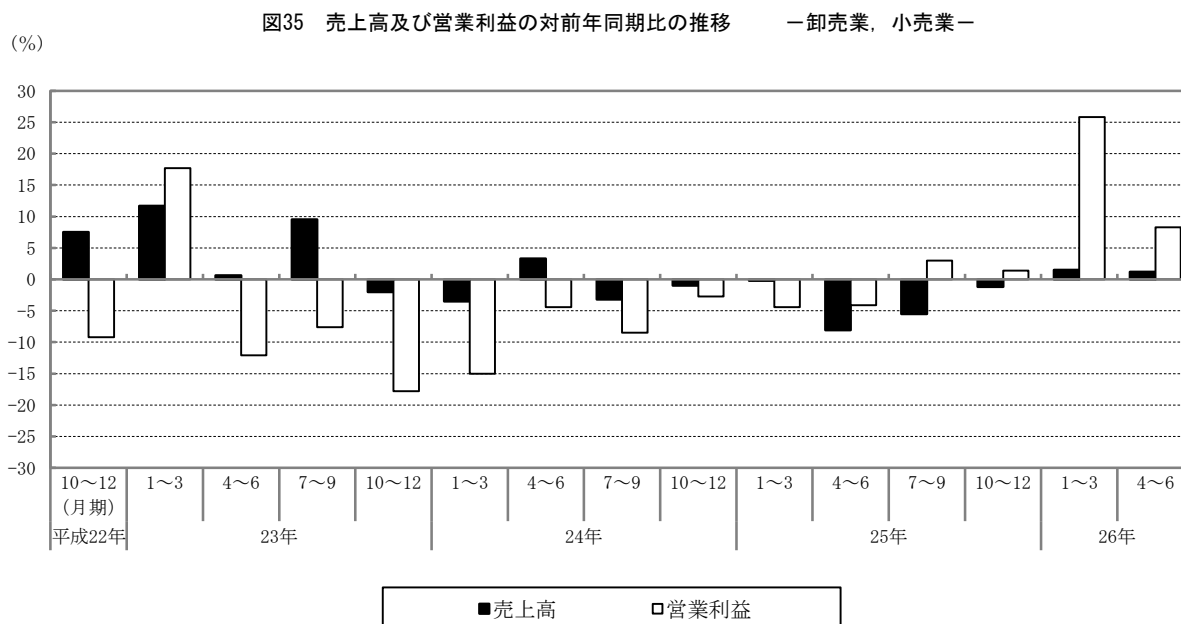


## 2 卸売業、小売業

### (1) 売上高及び営業利益

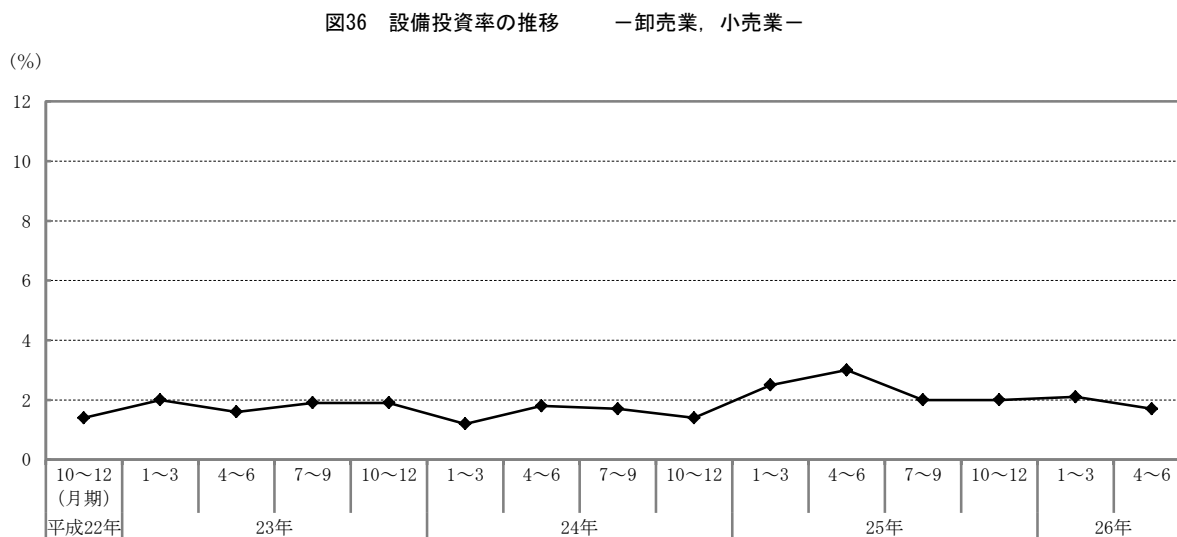
今期の1事業所当たりの売上高は398万1000円で、これに対する費用は売上原価が263万7000円、営業費が91万4000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は43万1000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) $1.2\%$ で、2期連続で増加した。また、営業利益は(+) $8.3\%$ で、4期連続で増加した。



### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は6万8000円で、前年同期(11万8000円)を下回った。また、設備投資率は $1.7\%$ で、前年同期( $3.0\%$ )を $1.3$ ポイント下回った。



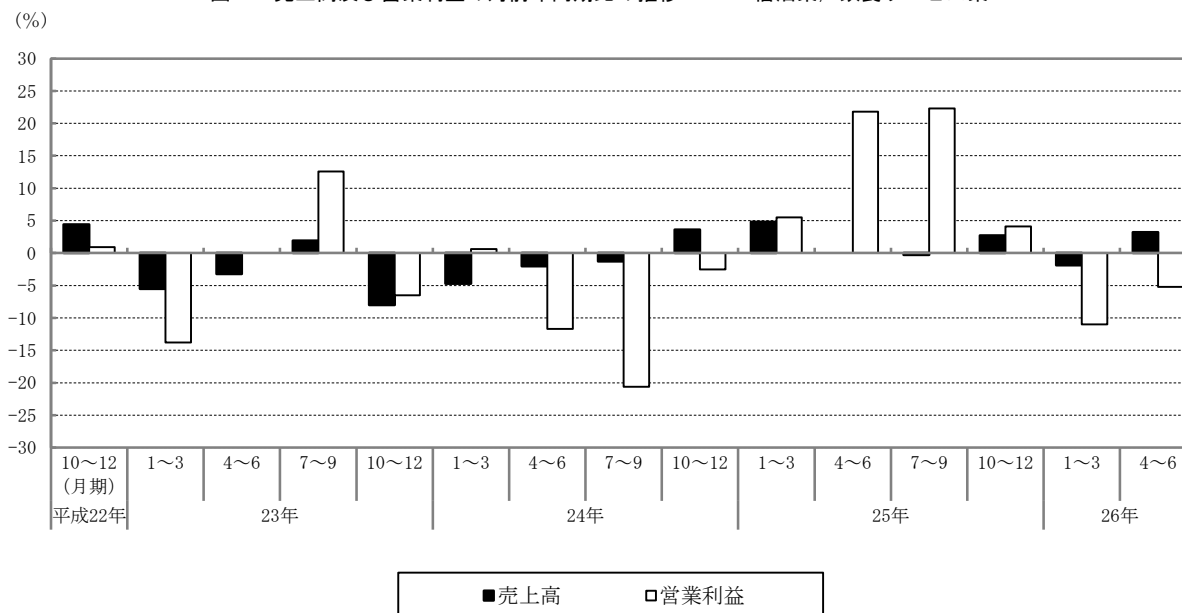
### 3 宿泊業，飲食サービス業

#### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は 215万4000円 で，これに対する費用は売上原価が 90万8000円，営業費が 84万3000円 となり，売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は 40万2000円 となった。

対前年同期比をみると，売上高は(+) $3.2\%$ で，2期ぶりに増加した。また，営業利益は(-) $5.2\%$  で，2期連続で減少した。

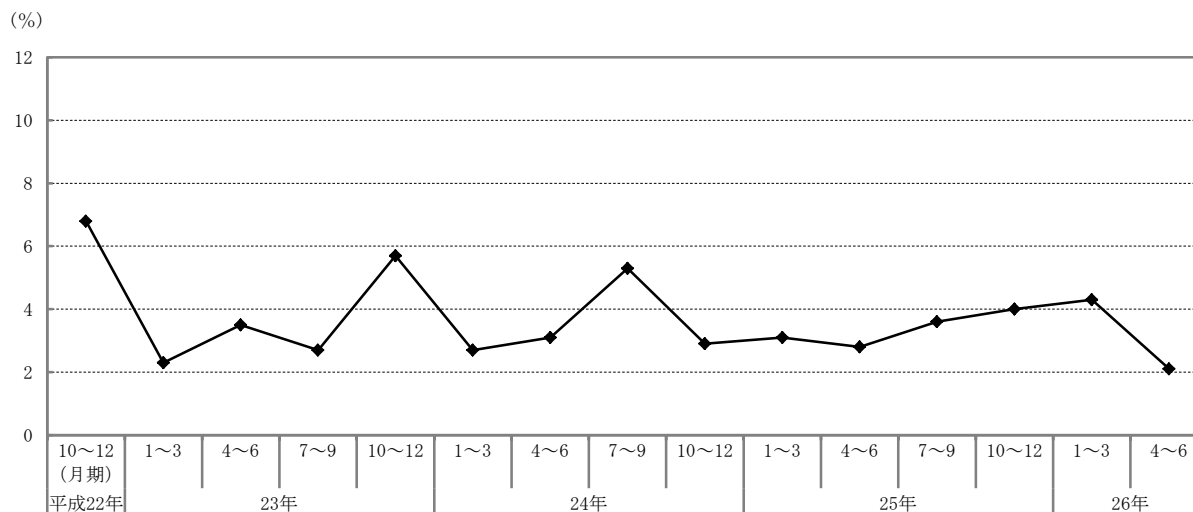
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



#### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は 4万5000円 で，前年同期（5万9000円）を下回った。また，設備投資率は  $2.1\%$  で，前年同期（ $2.8\%$ ）を  $0.7$  ポイント下回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



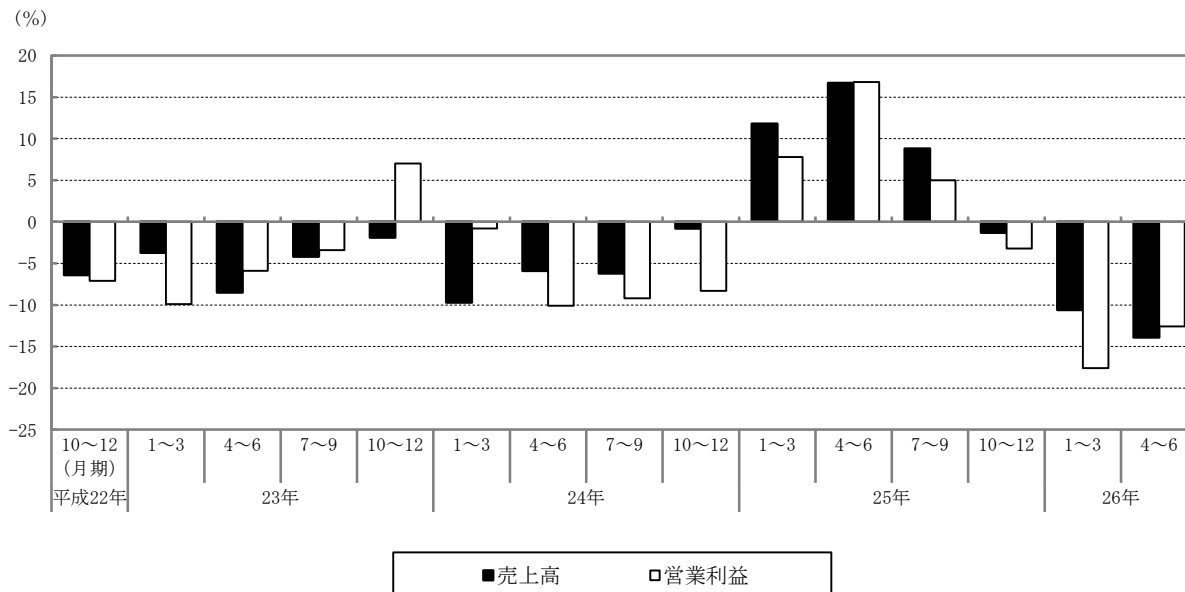
## 4 サービス業

### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は121万円 で、これに対する費用は売上原価が19万7000円、営業費が55万7000円 となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は45万6000円 となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)13.9% で、3期連続で減少した。また、営業利益は(-)12.6% で、3期連続で減少した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —サービス業—



### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は7万5000円 で、前年同期(6万3000円)を上回った。また、設備投資率は6.2% で、前年同期(4.5%)を1.7ポイント上回った。

図40 設備投資率の推移 —サービス業—

